



休憩も睡眠もまともにとらせず 長時間乗務を強要！

列車の遅れだけが問題じゃないぞ！

JR東海丹羽社長は、8月15日の台風とその後の新幹線の大幅遅延に関して、新たな対策として「車両基地への列車の滞留防止」対策を検討すると明らかにしました。しかし、乗務員が大変な勤務を強いられたことについては一言も触れられていません。

職場では大きな不満の声が上がっています。

そのごく一部を紹介します。

- 当直も指令も情報伝達・運用変更の判断が遅い。

(コムトラ予測に頼り切って技術継承ができていないのではないかな?)

- 乗務終了後に休憩を指示された。

(労基法第34条に抵触の可能性大)

- 休憩をまったく取れずに折り返し乗務を指示された。

- 休憩も睡眠も全く取れていないのに、退出ではなくさらなる待機を指示された。

- 勤務終了からわずかな時間で次勤務の行路を指示され、実質的に3泊4日の勤務となった。

- 勤務終了後に帰ろうとしたら管理者に取り囲まれ、待機を強要された。

(軟禁されるんじゃないかと恐怖を感じた人もいるとか。)

JR東海労は問題を集約して、会社に申し入れる準備を進めています。

他労組の組合員の皆さんも一緒に声をあげて会社の姿勢を糺しましょう！

